



# ボーリング柱状図

調査名 鶴ヶ谷第一市営住宅建替事業に伴う地盤調査業務委託

ボーリングNo. 57403742004

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.4	調査位置	仙台市宮城野区鶴ヶ谷二丁目1番地他(鶴ヶ谷第一市営住宅団地)	北緯	38° 17' 13.37"
発注機関	仙台市都市整備局公共建築部	調査期間	平成19年 3月19日～平成19年 3月22日	東経	140° 54' 43.18"
調査業者名	東北ボーリング株式会社 電話 022-288-0321	主任技師		現場代理人	コア鑑定者
ボーリング責任者		試験機	YSO-1	ハンマー落下用具	トンビ
孔口標高	H = 55.99m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総掘進長	13.33m	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	エンジン NFD-12
					ポンプ V6-B

標尺	層高	厚	深	柱状	土質	色	相対	相対	記	孔内水位/測定月日	標準貫入試験				試験番号	試験名及び結果	試料採取	室内掘進
											深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	N値				
m	m	m	m	図	分	調	度	度	事	日	m	0	10	20	30			
1						黄灰			凝灰岩、凝灰質砂岩の掘削土砂からなる埋谷土である。径1~3cmの凝灰岩礫を点在し、所々に径5cm程度の凝灰岩の岩塊を含む。深度3.7m、5.9m付近に木片、腐植物を混入する。		1.15	4	6	6	16			
2											1.45							
3											2.15	7	7	6	20			
4					盛土						2.45							
5											3.15	2	4	2	8			
6						暗青灰					3.45							
7											4.15	1	1	1	2			
8	48.54 48.39	7.45 0.15	7.45 7.60		旧表土	黒灰			全体に腐植物を混入する砂質シルトからなる旧表土である。深度7.5m付近、ボーリング削孔水の完全漏水が認められる。		4.45	15	15	30				
9					凝灰質砂岩	暗黄灰			径0.2cm程度の軽石を点在する凝灰質砂岩である。深度10m以深、軽石の混入少なく比較的細粒である。棒状コアで採取され、コアはハンマーの軽打で割れる程度の硬さを有する。		5.15	1	2	2	5			
10	45.49	2.90	10.50							5.45								
11	44.54	0.95	11.45		火山礫凝灰岩	暗灰黄灰			径0.5~1cmの火山礫を全体に混入する火山礫凝灰岩である。所々に凝灰岩を薄層で挟む。棒状コアで採取され、コアはハンマーの軽打で割れる程度の硬さを有する。		6.15	1	1	2	4			
12					凝灰質砂岩	黄灰			径0.5~1cmの軽石、火山礫を点在する凝灰質砂岩である。深度12.8m付近に径4cm程度の軽石を混入する。棒状コアで採取され、コアはハンマーの軽打で割れる程度の硬さを有する。		6.45							
13	42.66	1.88	13.33							7.15	1	1	2	4				
14										7.45								
15										8.05	50			50				
16										8.15				10				
										9.15	50			50				
										9.40	25			25				
										10.05	15	35		50				
										10.25				20				
										11.15	5	45		50				
										11.45				30				
										12.05	15	22	13	50				
										12.30			5	25				
										13.05	8	15	27	50				
										13.33			8	28				





# ボーリング柱状図

調査名 鶴ヶ谷第一市営住宅建替事業に伴う地盤調査業務委託

ボーリングNo. 57403743007

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名 No.7	調査位置 仙台市宮城野区鶴ヶ谷二丁目1番地他 (鶴ヶ谷第一市営住宅団地)	北緯 38° 17' 12.62"
発注機関 仙台市都市整備局公共建築部	調査期間 平成19年 3月28日～平成19年 3月30日	東経 140° 54' 49.39"
調査業者名 東北ボーリング株式会社 電話 022-288-0321	主任技師	現場代理人
孔口標高 H = 51.98m	角 180° 上 90° 下 0°	コア鑑定者
総掘進長 21.24m	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	ボーリング責任者
使用機種 YSO-1	地盤勾配 鉛直 90°	ハンマー落下用具 トンビ
エンジン NFD-12		ポンプ V6-B

標尺 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色相対調度	相対稠密度	記 事	孔内水位/測定月日	標準貫入試験				試験番号	原位置試験名及び結果	試験深度 m	試料採取番号	採取方法	掘進月日	
									深 度 m	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	N 値							
1							凝灰岩、凝灰質砂岩の掘削土砂からなる埋谷土である。所々に径1~3cmの凝灰岩礫を混入し、深度14.5m付近に腐植物を混入する。深度8m、12m付近に径1cm未満の火山礫を密集し、粘土化の進行が顕著である。	3 28 1.05	1.15	2	1	1	4						
2								2.15	3	3	4	10							
3								3.15	3	3	5	11							
4								4.15	3	3	5	11							
5								5.15	3	5	5	13							
6								6.15	2	2	2	6							
7								7.15	2	1	2	5							
8				盛土	黄灰			8.15	1	2	1	4							
9								9.15	4	5	5	14							
10								10.15	4	4	5	13							
11								11.15	8	8	12	28							3 28
12								12.15	2	3	2	7							
13								13.15	6	6	6	18							
14								14.15	4	4	4	12							
15								15.15	3	7	6	16							
16	36.38	15.60	15.60	凝灰質砂岩	黄灰			16.05	24	26	5	50							
17	35.78	0.60	16.20	凝灰質シルト岩	黄灰		16.20	5	5	5	15								
18	34.48	1.30	17.50	凝灰質砂岩	暗青灰		17.05	50	50	5	5							3 29	
19	32.78	1.70	19.20	凝灰質シルト岩	暗灰		18.05	24	26	7	17								
20	31.98	0.80	20.00	凝灰質砂岩	暗青灰		19.05	27	23	5	50								
21	30.74	1.24	21.24	凝灰質砂岩	暗灰		20.05	50	50	10	10							3 30	
22							21.05	25	25	9	50								
23							21.24	9	9	19	19								

# ボーリング柱状図

調査名 鶴ヶ谷第一市営住宅建替事業に伴う地盤調査業務委託

ボーリングNo. 57403743008

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名 No.8	調査位置 仙台市宮城野区鶴ヶ谷二丁目1番地他 (鶴ヶ谷第一市営住宅団地)	北緯 38° 17' 11.33"
発注機関 仙台市都市整備局公共建築部	調査期間 平成19年 3月31日～平成19年 4月 2日	東経 140° 54' 53.22"
調査業者名 東北ボーリング株式会社 電話 022-288-0321	主任技師	現場代理人
孔口標高 H = 52.04m	角 180° 上 90° 下 0°	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総掘進長 14.41m	度	地盤勾配 鉛直 90°
試錐機 YSO-1	ハンマー落下用具 トンビ	ボーリング責任者
エンジン NFD-12	ポンプ V6-B	

標尺 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位/測定月日	標準貫入試験				試験番号	試験名及び結果	試料採取深度 m	採取方法	室内試験月日
										深 度	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	N 値					
51.74	0.30	0.30		盛土	暗灰					1.15	4	5	5	14				
										1.45								
					黄灰					2.15	4	3	4	11				
										2.45								
				盛土	?					3.15	5	5	4	14				
										3.45								
										4.15	3	2	3	8				
										4.45								
					暗灰					5.15	2	2	2	6				
										5.45								
										6.15	2	2	2	6				
										6.45								
44.54	7.20	7.50								7.15	1	1	2					
										7.45	15	15	30					
				凝灰質砂岩	青灰					8.15	8	9	11	28				
										8.45								
42.84	1.70	9.20		火山礫凝灰岩	黄灰					9.15	15	35	50					
										9.35				20				
41.54	1.30	10.50		凝灰質砂岩	黄灰					10.15	23	25	2	50				
										10.36			1	21				
										11.15	8	13	17	38				
										11.45				30				
				火山礫凝灰岩	青灰					12.15	17	33	8	50				
										12.33				18				
38.54	3.00	13.50		凝灰質砂岩	黄灰					13.15	16	19	15	50				
										13.40			5	25				
37.63	0.91	14.41		火山礫凝灰岩	青灰					14.15	14	20	16	50				
										14.41			6	26				





# ボーリング柱状図

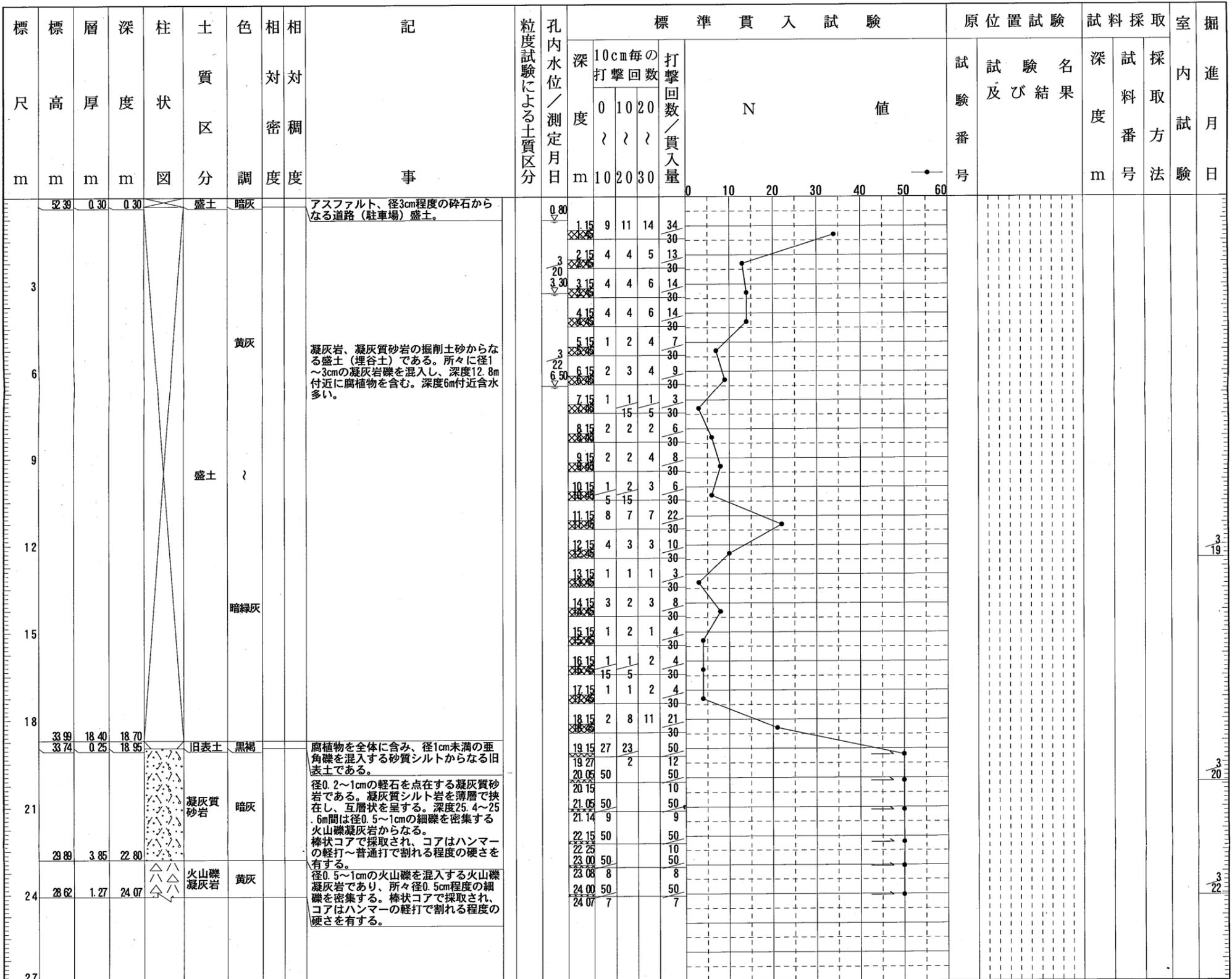
調査名 鶴ヶ谷第一市営住宅建替事業に伴う地盤調査業務委託

ボーリングNo. 5 7 4 0 3 7 4 3 0 1 3

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名 No.13	調査位置 仙台市宮城野区鶴ヶ谷二丁目1番地他 (鶴ヶ谷第一市営住宅団地)	北緯 38° 17' 14.85"
発注機関 仙台市都市整備局公共建築部	調査期間 平成19年 3月19日～平成19年 3月22日	東経 140° 54' 46.61"
調査業者名 東北ボーリング株式会社 電話 022-288-0321	主任技師	現場代理人
コ 鑑 定 者	ボーリング責任者	
孔口標高 H = 52.69m	角 180° 上 90° 下 0°	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総掘進長 24.07m	度 0°	向
地盤勾配 鉛直 90°	使用機種 東邦D-0	ハンマー落下用具 半自動落下装置
エンジン NFD-9	ポンプ BG-3B	







# ボーリング柱状図

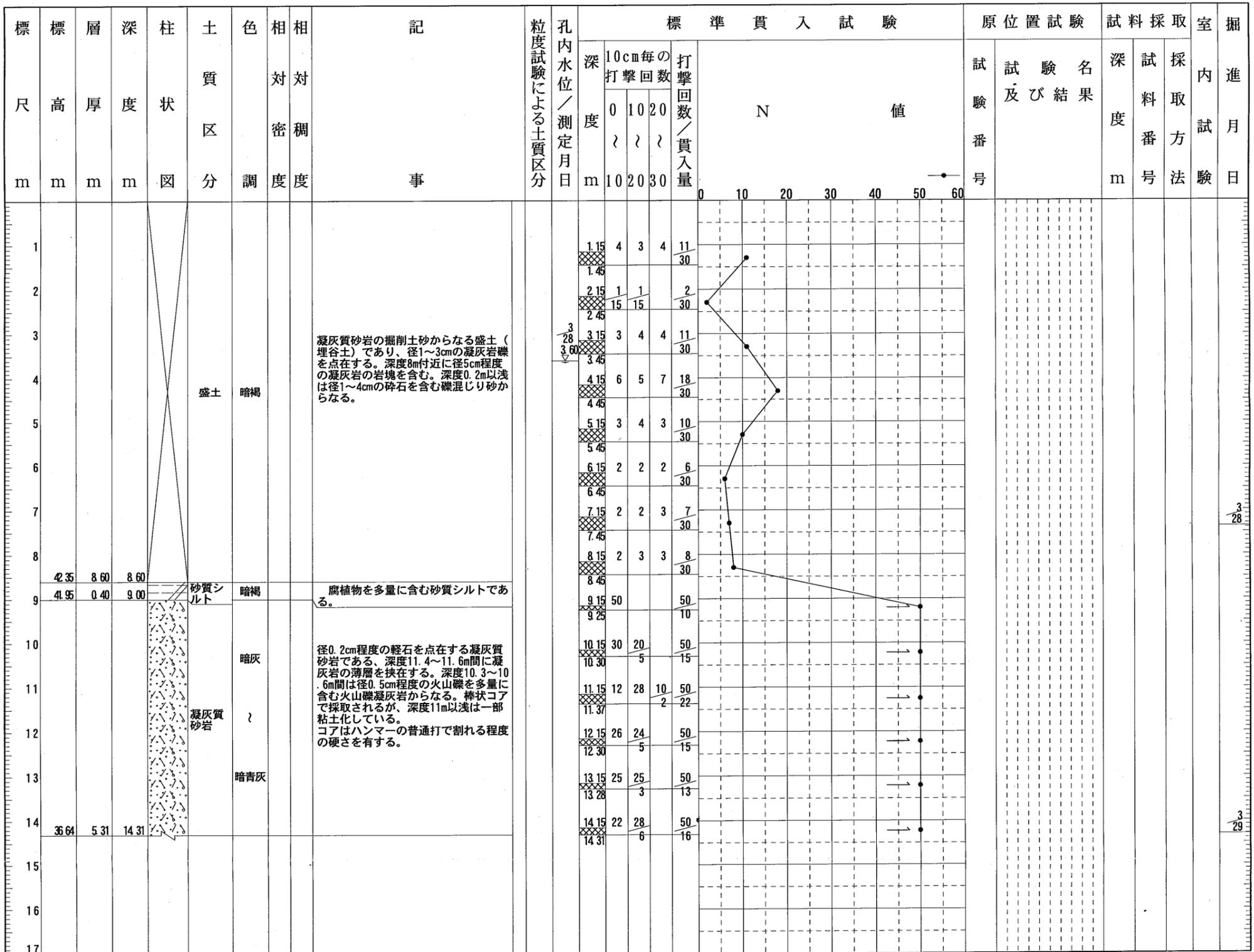
調査名 鶴ヶ谷第一市営住宅建替事業に伴う地盤調査業務委託

ボーリングNo. 5 7 4 0 3 7 4 3 0 1 6

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名 No.16	調査位置 仙台市宮城野区鶴ヶ谷二丁目1番地他 (鶴ヶ谷第一市営住宅団地)	北緯 38° 17' 13.21"
発注機関 仙台市都市整備局公共建築部	調査期間 平成19年 3月28日～平成19年 3月29日	東経 140° 54' 54.16"
調査業者名 東北ボーリング株式会社 電話 022-288-0321	主任技師	現場代理人
コ 鑑 定 者	ボーリング責任者	
孔口標高 H = 50.95m	角 180° 上 90° 下 0°	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
地盤勾配 鉛直 90°	使用機種 東邦D-0	ハンマー落下用具 半自動落下装置
総掘進長 14.31m	エンジン NFD-9	ポンプ BG-3B







# ボーリング柱状図

調査名 鶴ヶ谷第一市営住宅建替事業に伴う地盤調査業務委託

ボーリングNo. 57403743021

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.21	調査位置	仙台市宮城野区鶴ヶ谷二丁目1番地他 (鶴ヶ谷第一市営住宅団地)	北緯	38° 17' 16.43"
発注機関	仙台市都市整備局公共建築部	調査期間	平成19年 3月19日～平成19年 3月19日	東経	140° 54' 46.60"
調査業者名	東北ボーリング株式会社 電話 022-288-0321	主任技師		現場代理人	コア鑑定者
ボーリング責任者		試験機	東邦D-1	ハンマー落下用具	半自動落下装置
エンジン	NFD-12	ポンプ	BG-3		
孔口標高	H = 54.18m	角	180° 上 0° 下	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総掘進長	14.19m	度	0°	向	鉛直 0° 水平 0°

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色相	相対稠密度	相対密稠度	記	孔内水位/測定月日	標準貫入試験				試験番号	試験名及び結果	試料採取深度	採取方法	室内試験	掘進月日
										深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	N値						
										1.15	6	6	7	19					
					黄灰					1.45									
										2.15	4	6	8	18					
										2.45									
										3.15	1	2	2	5					
				盛土				凝灰質砂岩の掘削土砂からなる盛土 (埋谷土) である。径1~3cmの凝灰岩礫を点在する。		3.45									
										4.15	1	7	5	13					
										4.45									
										5.15	1	1	2	4					
										5.45									
					青灰					6.15	2	2	2	6					
										6.45									
										7.15	3	3	3	9					
										7.45									
										8.15	3	3	2	8					
										8.45									
	4.93	8.25	8.25							9.15	32	18		50					
	4.68	0.25	8.50							9.29		4		14					
				砂質シルト	暗褐			腐植物を混入する砂質シルトからなる砂質シルトである。		10.05	17	29	4	50					
				凝灰質砂岩	黄灰			所々に径0.2~1cmの軽石を混入する凝灰質砂岩である。深度9.6m付近に桃色の細粒凝灰岩を薄層で挟在する。棒状コアで採取され、コアはハンマーの軽打で割れる程度の硬さを有する。		10.26			1	21					
				火山礫凝灰岩	黄灰			径0.2~1cmの火山礫を所々密集する火山礫凝灰岩である。棒状コアで採取され、コアはハンマーの軽打で砕ける程度の硬さを有する。		11.05	50			50					
				凝灰質砂岩	黄灰			所々に径0.2cm程度の軽石を混入する凝灰質砂岩である。深度11.3m付近に火山礫凝灰岩を薄層で挟在し、深度11.5m付近に凝灰岩を薄層で挟在する。棒状コアで採取され、コアはハンマーの軽打で割れる程度の硬さを有する。		11.14	9			9					
										12.05	20	30		50					
	4.43	2.30	12.70							12.24		9		19					
				火山礫凝灰岩	黄灰			径0.2~0.5cmの細礫を全体に混入する火山礫凝灰岩である。深度13.3m付近に凝灰岩を薄層で挟在する。棒状コアで採取され、コアはハンマーの軽打で割れる程度の硬さを有する。		13.05	25	25		50					
	4.88	0.60	13.30							13.23		8		18					
				凝灰質砂岩	黄灰			所々に径0.2~0.5cmの軽石を混入する凝灰質砂岩である。棒状コアで採取され、コアはハンマーの軽打で割れる程度の硬さを有する。		14.05	27	23		50					
	3.99	0.89	14.19							14.19		4		14					



# ボーリング柱状図

調査名 鶴ヶ谷第一市営住宅建替事業に伴う地盤調査業務委託

ボーリングNo. 5 7 4 0 3 7 4 3 0 2 3

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名 No.23	調査位置 仙台市宮城野区鶴ヶ谷二丁目1番地他 (鶴ヶ谷第一市営住宅団地)	北緯 38° 17' 14.77"
発注機関 仙台市都市整備局公共建築部	調査期間 平成19年 3月26日～平成19年 3月26日	東経 140° 54' 54.82"
調査業者名 東北ボーリング株式会社 電話 022-288-0321	主任技師	現場代理人
コ 鑑 定 者	ボーリング責任者	
孔口標高 H = 50.64m	角 180° 上 下 0°	方 北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総掘進長 6.15m	度 0°	方 向
	鉛直 90°	地盤勾配
	使用機種	試錐機 東邦SD-1
	エンジン NFD-12	ハンマー落下用具 半自動落下装置
		ポンプ BG-3

標尺 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位/測定月日	標準貫入試験				試験番号	原位置試験 試験名及び結果	試料採取 深度 m	採取方法	室内試験 進捗月日
										深 度 m	10cm毎の 打撃回数	打撃回数/貫入量	N 値					
	50.49	0.15	0.15	表土	灰褐色			径0.2~1.5cmの凝灰岩礫、凝灰質砂岩礫を混入する中～粗砂からなる表土である。		1.05	19	31	50					
1				凝灰質砂岩	黄灰			全体に径0.2cm程度の軽石、雲母片を混入する凝灰質砂岩である。深度3.3m付近に凝灰質シルト岩を薄層で挟在する。棒状コアで採取され、コアはハンマーの軽打で崩れる程度の硬さを有する。		1.24	9	19						
2				凝灰質砂岩	黄灰			全体に径0.2cm程度の軽石、雲母片を混入する凝灰質砂岩である。深度3.3m付近に凝灰質シルト岩を薄層で挟在する。棒状コアで採取され、コアはハンマーの軽打で崩れる程度の硬さを有する。		2.05	23	27	50					
3				凝灰質砂岩	黄灰			全体に径0.2cm程度の軽石、雲母片を混入する凝灰質砂岩である。深度3.3m付近に凝灰質シルト岩を薄層で挟在する。棒状コアで採取され、コアはハンマーの軽打で崩れる程度の硬さを有する。		2.21	6	16						
4	47.19	3.30	3.45	火山礫凝灰岩	黄灰			全体に径0.5cm未満の細礫を混入する火山礫凝灰岩であり、所々に細粒な凝灰岩を薄層で挟在する。深度4.3m付近に層厚3cm程度の桃色の凝灰岩の薄層を挟在する。棒状コアで採取され、コアはハンマーの軽打で割れる程度の硬さを有する。		3.05	20	30	50					
5				凝灰質砂岩	暗灰			全体に径0.2~1cmの軽石、並円礫を混入する凝灰質砂岩である。所々に凝灰岩の薄層を挟在し、深度5.1m付近に径3cm程度の軽石を混入する。深度5.5m以深、径1cm程度の火山礫を点在する。		3.20	5	15						
6	46.24	0.95	4.40	凝灰質砂岩	暗灰			全体に径0.2~1cmの軽石、並円礫を混入する凝灰質砂岩である。所々に凝灰岩の薄層を挟在し、深度5.1m付近に径3cm程度の軽石を混入する。深度5.5m以深、径1cm程度の火山礫を点在する。		4.05	18	22	10	50				
7				凝灰質砂岩	暗灰			全体に径0.2~1cmの軽石、並円礫を混入する凝灰質砂岩である。所々に凝灰岩の薄層を挟在し、深度5.1m付近に径3cm程度の軽石を混入する。深度5.5m以深、径1cm程度の火山礫を点在する。		4.29	4	24						
8	44.49	1.75	6.15	凝灰質砂岩	暗灰			全体に径0.2~1cmの軽石、並円礫を混入する凝灰質砂岩である。所々に凝灰岩の薄層を挟在し、深度5.1m付近に径3cm程度の軽石を混入する。深度5.5m以深、径1cm程度の火山礫を点在する。		5.05	22	28	50					
				凝灰質砂岩	暗灰			全体に径0.2~1cmの軽石、並円礫を混入する凝灰質砂岩である。所々に凝灰岩の薄層を挟在し、深度5.1m付近に径3cm程度の軽石を混入する。深度5.5m以深、径1cm程度の火山礫を点在する。		5.24	9	19						
				凝灰質砂岩	暗灰			全体に径0.2~1cmの軽石、並円礫を混入する凝灰質砂岩である。所々に凝灰岩の薄層を挟在し、深度5.1m付近に径3cm程度の軽石を混入する。深度5.5m以深、径1cm程度の火山礫を点在する。		6.05	50	50						
				凝灰質砂岩	暗灰			全体に径0.2~1cmの軽石、並円礫を混入する凝灰質砂岩である。所々に凝灰岩の薄層を挟在し、深度5.1m付近に径3cm程度の軽石を混入する。深度5.5m以深、径1cm程度の火山礫を点在する。		6.15		10						